

浜田港運(株)



代表取締役社長

ささぎ しんいちろう
佐々木 伸一郎氏



浜田港運株式会社 本社



浜田港運株式会社

浜田港運株式会社
浜田市長浜町 1785 番地 7
TEL 0855-27-0072
<http://www.hamadakoun.co.jp>

荷役作業の安定図り工夫

―コロナ禍で世界的なコンテナ輸送の混乱など海運業界は激変しています。

コンテナ輸送の混乱は、コロナ禍により世界各国の港湾労働力や陸上のトラック輸送力が大きく減少した影響で発生しています。海上運賃は航路によって異なりますが、コロナ禍前と比べて1・5〜7倍に高騰し高止まっている状況です。船会社はアジアだと貨物量が多い韓国、中国、東南アジアに船舶を集中投入し、日本へは間引いています。

―浜田港の国際定期コンテナ航路は2021年4月以降、週2便から週1便に減少しています。

コンテナ船の大型化は世界的な潮流ですが、浜田港岸壁は水深が浅いところが多くて大型船には使いにくく、港の主力である木材運搬船とコンテナ船が同時着岸できない状況です。打開には水深がある沖に向けて岸壁を延伸させる必要があります。21年度は定期コンテナ航路開設20年でしたが、減便に伴い約1割の荷主の貨物が他港に振り替えられたり、取扱量が減る影響が出ています。

―浜田港唯一の港湾荷役や通関業を担う企業ですね。

利用者ファーストが前提です。荷主業者に対しては船舶着岸後の荷物の積み降ろしや輸送時間の短縮、品目による積載方法の工夫を心がけ、船会社に対しては天候などによる寄港日程の狂いに対応するため、職員の時差勤務を柔軟に導入し荷役作業の安定を図っています。社員を近隣港で実地研修させ、サービスの改善や向上にも取り組んでいます。

―専門性の高い業務が多く優秀な人材確保に力を入れています。

男性中心の業界ですが、女性は社員49人のうち8人、国家資格の通関士6人のうち2人いて活躍しています。英語力の求められる船舶代理店業務もあり世界を相手にする職場です。「企業は人なり」を理念に、資格や免許の取得、語学向上といった社員の技能向上を支援しています。4月からは休憩所とサブオフィスを兼ねた建物を浜田港内に設けました。社員の労務改善を図り、働きやすい職場づくりに注力します。